

ひろば通信12月号

こんにちは。ついに今年も残すところあと1か月となりました。年賀状に大掃除に、そしておとしとりなどなど12月はやるべきことがいっぱいですね。そんな生活の中にも安らぎのひとときを・・・ということで今月はいくつかのひろばでの喫茶事業を紹介いたします。

浪漫茶房

城東地区福祉ひろばでは、毎月第3火曜日に、「浪漫茶房」を開いています。この浪漫茶房、8年以上の歴史があり、なんと今年の9月に記念すべき100回目を向かえ、同時に8000人目のお客様をお迎えしました！最近では毎回参加者が100人越えとなっており、城東地区福祉ひろばのメイン事業の1つとなっています。

1人暮らしの方、併設されている児童館からふらっと立ち寄った親子など様々な方々が立ち寄るため「浪漫茶房」は人と人をつなぐ場にもなっています。



今回のメニューは、スイートポテト・淡雪かん・奈良漬でした。飲み物は紅茶、コーヒー、季節のお茶（今月はホット麦茶）、お抹茶でした。紅茶・コーヒー・お茶は飲み放題でした。



みんなの縁側

白板地区福祉ひろばでは、「結～地域を結び・心をつなぐ～」をテーマとして、様々な活動を行っています。11月9日（水）に「みんなの縁側」が開かれ地域の皆さんがお互いの親睦と、白板地区との結びつきをさらに深められました。

福祉ひろばにある折り鶴アートです。赤・緑・青・黄色の4色には白板地区を構成する4ブロックが心を結んで歩いていけるようにとの願いが込められています。



この日は、くるみゆべしや柿をいただきながら防災くつ下人形（2つ並んでいる小人さんのような人形です）を作ったり、日赤奉仕団の井垣団長によるマジックショーが開催されました。

次の「みんなの縁側」は12月6日に開かれ、手芸講座として干支づくりを行います。ご希望の方は白板地区福祉ひろばまでご連絡ください。



喫茶 まつばら

松原地区福祉ひろばでは子育て支援事業として「カンガルーの会」の会が活動していたり、近くにある中信病院のお散歩コースとなっています。そんな松原地区福祉ひろばで開かれた「喫茶 まつばら」ではママ友さんたちとそのお子さん、中信病院に入院している方などさまざまな層のお客様が集まり親睦を深めています。



ひろばサポーターさんによる今月のメニューは、和コースと洋コースから選択でき、和コースは「2色いももち」洋コースは「パンケーキとフルーツの盛り合わせ」でした。和コースを食べた後に、「美味しかったから洋コースも食べてみようかしら・・・」という方もちらほらと見受けられました。



喫茶 まつばらのお菓子は目でも楽しめるおしゃれなものになっています



ひろば喫茶

11月18日、田川地区福祉ひろばではボランティア部会による「ひろば喫茶」が催されました。この日は、「フェルトのペットボトル制作コーナー」も開かれ、美味しいコーヒーとシュークリームをいただきながら会話に工作にと、ゆったりした時間の中で楽しいひと時を過ごすことができました。ゆる〜く・ゆる〜くいくのが田川式です。初参加の方でも気兼ねなくゆっくりできます。



空気が乾燥する冬場には、水分補給が不可欠です。このペットボトルホルダーがあれば熱いお茶も楽々持ち歩くことができますね。ウォーキングのお供にも☆



ひろば喫茶

「喫茶店の数が足りない今井地区に、喫茶店を」というコンセプトをもとに始められた今井地区福祉ひろばの「ひろば喫茶」は今年の11月で10年目を迎えました。一般の喫茶店にも負けないような本格的なお菓子とお茶をお出しするのがこだわりです。この日は、地区のボランティアさんの作った、今井地区で採れたリンゴを使ったケーキなどがメニューに並び、市外からもお客さんが多くいらっしゃいました。

今井地区のひろば喫茶は、保健師さんによる無料健康相談の場としても利用されています

